

鑛石運搬夫二人、手選夫一人、跳汰夫一人を要す。其建設費百五十弗、操業費鑛石一噸に對し動力〇・一二弗、勞力二弗なり。廢鑛の品位はタングステン酸一乃至四を含有す。他の工場はトレヴァーテン、ランチに於ける沖積鑛床を稼行せるチエスターデレット及びベンフラッチー氏の夫れなり。同鑛床は床岩の溝をなせる砂礫にして其厚さ數吋より四呎に上下するものなり。其砂礫の上部は六呎の深さに粘土又は眞土を以て蔽はる。粘土又は眞土はカツチャにて去り砂礫は鑛車にて跳汰機に運搬し、一時半格子を以て篩別し篩上は手選をなし篩下は直ちに給樋に落下せしむ。給水は樋により跳汰機に送る其量一分間に百ガロンなり。跳汰機は二室ブロンチャイ式にして各網室の網の面積幅十九吋長三十吋、プランチャイの衝程一時四分の一、一分間の衝數百十二回なり。其操業法は前者と同様なり只た原鑛異なり中鑛を生せず、尙第一室を床上げせし後第二室よりの汰鑛を第一室に入れ床となす。而してハッチ鑛は一、五%の酸化タングステンを含有するも磁鐵鑛を緻密に伴隨するを以て選鑛困難なるを以て排棄す。使用人員は探掘方二人、跳汰機給鑛方一人、其處理鑛量一日十噸、砂礫は酸化タングステン四分の一乃至一・五%を含有す。操業費は鑛石一噸に對し動力〇・〇七弗、勞力一・四〇弗なり。

(The Engineering and Mining Journal, April 22,

●英國鐵鋼協會秋季大會

英國鐵鋼協會秋季大會

は在ロンドンなる土木工學會樓上に於て五月四日(木曜日)を以て開催せられたり、前會長アーサー、クーパー氏會長を司る開會に當り前會長は先づ協會理事長たりし博士アドルフ、グライナー氏の逝去に就て哀悼の意を表しグライナー氏夫人及び同家族一同のために更に亦其の支配人を失ひしコツケルル會社のためにも協會各員一同は起立して深く其の不幸を痛む所ありたり。

ヨセフ、アダムソン氏及びヒジョージ、ホーランド氏は總會に於ける役員選舉に際しその投票の検査役に任命せられし前役員はすへて兩氏により開票の結果再選せられし旨發表せられたり。

次て各役員より會計報告新役員の任命退會者及び細則の變更附加等に關する報告ありたる後續いて左の論文發表せられたり。

鐵及鋼の腐蝕に對する炭素及滿俺の影響

サー、ロバート、ハットフィールド氏及び
デエー、ニユートン、フレンド氏

鋼の腐蝕に關する理論

レスリー、アキチソン氏

工具鋼の截斷能率とブリネル式或はスクレロスコープ硬度との關係に就て

デエー、オー、アルノルド氏 (シエフヒー

ルド大學教授)

クロミウム鋼の冷却速度及び最高温度

シー、エー、エドワード氏、ヂェー、エヌ、グ

リオンウッド氏及吉川晴十氏

金屬内粒間セメント及びひ彈性極限に對する表面張力の影響
エフ、シー、トンブソン氏

鐵及鋼の變出點(レカレッセンス)(Recalcescence)に對する實驗
エー、マロツク氏

軟鋼の硬度試験に於ける實驗

ダブリユー、エヌ、トーマス氏

新式熱電氣法に依る金屬内同素體變化の研究

カール、ベネヂツク氏

同大會は更に引續き五月五日(金曜日)同様土木工學會樓上に於て開催せられサー、ウヰリアム、バードモリア氏會長の役を司れり、當日は「戦後商業界に於ける當英國鐵鋼協會の位置」なる重大問題に就て慎重熟議する所ありたり。猶當日發表せられたる論文左の如し(前日の引續き)

工具鋼の截斷能率とブリネル式或はスクレロスコープ硬度との關係に就て
ヂェー、オー、アルノルド氏

クロミウム鋼の冷却速度及び最高温度に就て

シー、エー、エドワード氏、ヂェー、エヌ、グリ

リオンウッド氏及び吉川晴十氏

●理研研究事項

理化學研究所設立は愈具體的に進捗し發起人會を開く迄に運ひたるか同所か今後主として研

究すべき問題は差當り左の諸事項なり。

(一)電氣及電氣化學に關する研究(二)照光工業に關する研究(三)理化學機械中精密なる器械、標準計測器及光學用并熱學用硝子に關する研究(四)醫藥、染料、香料、護謨等の化學的合成に關する研究(五)食料、飲料等に關する研究(六)冷凍業に關する研究(七)油類に關する研究(八)空氣中窒素の固定に關する研究(九)鐵煙除去に關する研究(十)炭坑内瓦斯爆發豫防に關する研究(十一)鐵鋼、特殊鋼等の如き金屬熱、壓力、張力等に依る組織の變化に關する顯微鏡的研究(十二)内燃タービンに關する研究(十四)兵器及爆藥に關する研究(十五)耐火震構造に關する研究

前記の如く研究事項は極めて廣汎なるも是等の事項につきては同時に之か研究に着手するに非ず事項の輕重緩急に應じ經費の許す範圍に於て研究の順序を定め専ら學理の方面より根本的研究を爲すへしと云ふ。

●理研設立發起人會

大隈首相の挨拶、創立委員の推選、資本金額八百萬圓を以て本年度内に財團法人としての理化學研究所を設置せん計畫の下に既に去る三十七議會に於て二百萬圓の國庫補助を議決し結局五百萬圓だけを民間有志寄附に仰くべき事を定め過般來準備委員長たる澁澤男爵の手許に於て設立準備中なりしか略々其の準備を終へたるを以て三日正午より永田町なる首相官邸に於て全國發起人を會し設立準備に關する報告を兼ね將來採るべき方針に就き協議を凝らしたるか當日は大隈首相を始め河野農相其他上山、菅原兩次官、高橋法制局長官並に江木書記官長等列席主唱者側よりは澁澤男、中野武營、井上準之助、櫻井錠三、團琢磨、高松豊吉、大倉喜八郎、近藤廉平、安田